

授業科目名： 学校と教育の歴史	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：市原光匡 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>主として近現代の西洋・日本の教育の歴史を学ぶとともに、教育史研究の意義について理解する。</p> <p>到達目標としては、以下の四点を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解し、説明できること。</li> <li>2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解し、説明できること。</li> <li>3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解し、説明できること。</li> <li>4. 教育の歴史を学ぶことの意義を理解し、教育史の知識を活かせること。</li> </ol>			
<p>授業の概要</p> <p>教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶ。またこれまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解し、説明できることを目指す。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：中世以前の西洋の教育</p> <p>第3回：実学主義と教育－ラトケとコメニウス</p> <p>第4回：近代教育の思想と実践－18世紀西洋の教育（1）子どもの発見</p> <p>第5回：近代教育の思想と実践－18世紀西洋の教育（2）近代公教育の思想</p> <p>第6回：公教育と教育思想－19世紀の教育（1）学校の普及と拡大</p> <p>第7回：公教育と教育思想－19世紀の教育（2）教育の方法論</p> <p>第8回：新教育の理念と展開－イギリス・フランス・ドイツの新教育運動</p> <p>第9回：新教育の理念と展開－アメリカの進歩主義教育運動その他</p> <p>第10回：日本の教育史－古代・中世日本の教育</p> <p>第11回：日本の教育史－近世日本の教育</p>			

第12回：日本の教育史－近代日本の教育

第13回：日本の教育史－大正自由教育運動と戦間期の教育

第14回：20世紀以降の教育－西洋各国の教育改革

第15回：20世紀以降の教育－戦後日本の教育改革

定期試験

テキスト

テキストは特に指定しない。なお、授業のレジュメ（要約）のプリントを配布する。

参考書・参考資料等

柴田義松・斎藤利彦〔編〕『教育史』学文社、2005。その他必要に応じて授業中に適宜指示する。

学生に対する評価

平常点30%（小テスト含む）、定期試験70%の比率で評価する。